

参考資料 1. 当事者ヒアリング詳細

※ (LV) はロービジョンの実験協力者

施設・設備	発言者：色覚特性	困っていること
LED	D：1型・中等度	・日中など LED の渋滞情報の赤い色が背景にとけこんでしまい見えないことがある。見えても黄色の方が目立つ。
	B：1型2色覚	・車内の次駅表示で、現在または次の駅に点灯する赤い LED ランプに気づけなかった。
	H：2型2色覚	・井の頭線渋谷駅では、「次の電車はホーム上の緑色のランプのところでお待ちください」という案内方法があり、わからなかった。
	E：2型2色覚	・電車の行き先表示を見ても自分が乗りたい列車なのか判断するまで時間がかかる。
	L：(LV) 先天性・型不明	・井の頭線渋谷駅では、ホーム上で乗車位置を LED ランプの色の違いだけで示すものがあり、わからなかった。
	L：(LV) 先天性・型不明	・電車車両側面の LED は、車両が動き始めるとちらついてよく見えない。昔の LED ではないものの方がよかった。
	L：(LV) 先天性・型不明	・吊下げ式の行き先表示は真下からなら色はわからないが文字は読むことができる。
	M：(LV) 後天性	・中野駅では電車によってホームが変わるが、LED 表示器は見えないので、アナウンスを聞かないとわからない。
サイン	B：1型2色覚	・乗換の際、駅員に尋ねたところ緑のラインをたどれと言われたが、どれが緑なのかわからなかった。
	B：1型2色覚	・乗車位置を聞いた際に色名で教えられ、文字でもはっきりと書いていなかったため探すのに時間がかかった。
	D：1型・中等度	・トイレの開閉表示は表示面積が小さいためか色の違いがわからない。
	F：2型2色覚	・トイレの開閉が黒地に赤い文字で示されており、どちらなのかわからなかった。
	F：2型2色覚	・新宿駅地下の案内表示で、文字情報が少なく、表示された番号が何に対応するのかわからなかった。
	E：2型2色覚	・東京駅で総武線に乗る際、総武線＝黄色というイメージで探していたら、東京駅では青色（快速色）で表示されていた。
	G：2型2色覚	・トイレの開閉が赤と緑で示されており、どちらなのかわからなかった。
	K：(LV) 先天性・型不明	・青い背景に赤で女性のマークがあった場合全くわからない。
	K：(LV) 先天性・型不明 L：(LV) 先天性・型不明 M：(LV) 後天性	・出口を示す黄色のサインには気がついたことはない。
	M：(LV) 後天性	・トイレの男女サインで人の顔の絵のものがあり、判断がつかず間違えて開けてしまった。
路線図	H：2型2色覚	・車内の路線図で凡例と色を結びつけるようなものがあり、降りたい駅に停まるのかどうかわからなかった。
	J：2型3色覚 I：2型2色覚	・路線図は色の線が交わっているとわからない。
	L：(LV) 先天性・型不明 M：(LV) 後天性	・路線図は使えない。凡例があってもわからない。
	K：(LV) 先天性・型不明	・色の違いはわからないので、線をたどって使っている。

施設・設備	発言者：色覚特性	困っていること
階段	M：(LV) 後天性	・レンガ模様の階段、段鼻のない階段は降りるのが怖い。
	K：(LV) 先天性・型不明	・松葉杖で階段を下りるときに杖をどこに下ろしてよいかわからず転倒した。
エレベーター	J：2型異常3色覚	・エレベーターのボタンでボタン横にランプがつくものは見づらかった。
券売機	C：1型2色覚 D：1型・中等度	・昔あったボタンの中に赤字で運賃が表示されている券売機は見えなかった。
	H：2型2色覚	・券売機で、文字は読めるが書いてある内容がよくわからなかったことがある。
	E：2型2色覚	・半屋外に置かれている券売機の画面が全く見えず、券売機が使えなかった。
点字ブロック	M：(LV) 後天性	・白い床に黄色の点字ブロックはわかりにくい。
柱	K：(LV) 先天性・型不明	・床と柱が同系色で柱にぶつかった。
床	M：(LV) 後天性	・改札前の床面に縞模様があり、コントラストが強かったので階段かと思い驚いた。
改札	A：1型2色覚	・自動改札の進入可否の表示(赤と緑)が、近くに行くまで見えず、直前で進路を変えるためよく人とぶつかってしまう。エスカレーターも同様である。
	L：(LV) 先天性・型不明	・改札の侵入可否の矢印表示は近づき注意しないと見えない。白だったらもっと見やすいと思う。矢印の形を見ている。どちらかというと扉を見て判断する方が多い。
車両	A：1型2色覚	・車両全体が路線カラーの色になっている車両から、路線カラーの帯が入った車両になってから、中央線と総武線を乗り間違えた。
	C：1型2色覚	・グリーン車の空席・着席表示に気がつかなかった。
	C：1型2色覚	・昔の全面に色がついていた車両は、車両の色を頼りにしている。
	F：2型2色覚	・山手線の折りたたみ式の座席で使用可能なランプに気がつかなかった。
	F：2型2色覚	・地方路線のドアの自動開閉のランプに気付かなかった。
対応	C：1型2色覚	・まわりより若干暗い=赤だろう、と判断する
	C：1型2色覚	・何線が何色、といったかたちで覚えようとは思っていない。JRの車両のラインの色が何色かとは考えたことがない。
	C：1型2色覚	・どこに落とし穴があるか察知できるようになっている。
	C：1型2色覚	・事業者の提示方法(こう見てほしい)に対してどう対処しているのか、理解の手助けをしているのか、事業者に伝えることが重要。
	D：1型・中等度	・電光掲示板の赤はほとんど注意喚起にはならない
	D：1型・中等度	・見にくいので当然注意して見る。瞬時に判断できるかは別の問題。情報がほしいときはじっくり見る。
	D：1型・中等度	・色を探すのではなく文字を探す。
	D：1型・中等度	・乗車位置が路面に表示されているものは近くまで行って文字で判断する。
	D：1型・中等度	・困っていると言われれば困っているのだろうが、その時々で対処していくしかない。それこそ無意識だと思う。
	D：1型・中等度	・乗換専用改札(オレンジ)は、まずオレンジっぽい色を探し、色名表示を見て判断する。
	I：2型2色覚	・色の違いで侵入可否を示しているもの→時間をかけて見る
I：2型2色覚	・青と別の色、という識別方法を使う。	

施設・設備	発言者：色覚特性	困っていること
	H：2型2色覚	・戻れの矢印がわかりにくい。色がわかれば色の連続性で文字を読まずにたどっていくことができるのかもしれない。
	H：2型2色覚	・乗換専用改札(オレンジ)は、消去法で、オレンジとは思えない色を除いていき判断する。
	J：2型3色覚	・券売機など自分で操作するものは意識しているのでよく見ればわかる。無意識のものを突然認識するのは難しいかもしれない。
	K：(LV)先天性・型不明	・何色と書かれていてもあくまでも文字を見る。
	K：(LV)先天性・型不明 L：(LV)先天性・型不明 M：(LV)後天性	・色の濃淡で違いを判断する。
	L：(LV)先天性・型不明	・トイレのサインはピクトで判断するので、赤と青というのは自分にとってはどうでもよい。ピクトが統一されていないと困る。
非常	E：2型2色覚	・遅延により振替をすることになったが、2枚紙をもらい、緑の方を窓口に出してくださいと言われ、色が分からず困った。
	I：2型2色覚	・非常ボタンはわかるが、赤いと目立ちはしない。
	H：2型2色覚	・メトロのホーム上にある通話ボタン(赤は呼び出し中、緑になったらお話しください)は試してみたい。
	L：(LV)先天性・型不明	・非常口のサインはピクトや文字で探す。緑という意識はあまりない。
地図	B：1型2色覚	・地図上で現在位置の表示を探すのに時間がかかった。
バス	A：1型2色覚	・バスの行先が、終バスのみ赤い文字となっており、行先がよく見えない。完全に見えないわけではなく、通過間際に読み取れる。
	K：(LV)先天性・型不明	・都バスはLEDの行き先表示に終バスでは赤枠、その一本前では緑の枠が文字のまわりにつくが、色が判断できないので最終バスなのか判断できない。
	K：(LV)先天性・型不明	・都バスはLEDの行き先表示に終バスでは赤枠、その一本前では緑の枠が文字のまわりにつくが、色が判断できないので最終バスなのか判断できない。
	L：(LV)先天性・型不明	・バスの料金表(LED)が見づらい。
	L：(LV)先天性・型不明	・バスの停車ボタンが付いているのかどうかわかりにくい。
	K：(LV)先天性・型不明 L：(LV)先天性・型不明 M：(LV)後天性	・バス停の接近表示は昼間見えない。
	K：(LV)先天性・型不明 L：(LV)先天性・型不明 M：(LV)後天性	・バスの行き先表示(オレンジのLED)は見えない。昼は特にわからない。バスの行き先表示は昔の内照式の方がよく見えた。